

日本国際連合学会 国連課題研究会 第1回月例会合の案内  
 オンライン・セミナー「ウクライナ紛争から見えてきた国連の抱える課題」  
 2023年4月25日（火） 20:00-21:40

**無料・要事前登録**：登録された方に事前に ZOOM のリンクをお送りします。

登録先：猪又忠徳 国連課題研究会幹事 E-mail: [tadinomata@aol.com](mailto:tadinomata@aol.com)

#### プログラム

19:50 ZOOM 開始

20:00 セミナーのモデレーターの説明 井上健 日本国際連合学会理事

20:05 開講のことば 猪又忠徳 研究会幹事 日本国際連合学会理事

20:10 基調講演 「ウクライナ紛争から見えてきた国連の抱える課題」

神余隆博 元在国連大使、元駐ドイツ大使、前日本国際連合学会理事長

20:40 パネル討論

◆ グローバルサウス及びウクライナ問題へのブレトンウッズ機関の関与の視点より

佐俣 紀仁 武蔵野大学 法学部法律学科 准教授

◆ 国連システムの意思決定への市民社会の参加拡大の視点より

中村 長史 東京大学 総合文化研究科・教養学部附属教養教育高度化機構 特任講師

21:05 参加者による自由討論（一発言3分以内）

21:35 今後の行事の案内 猪又忠徳

21:40 終了

#### 背景

本年2月24日に日本国際連合学会は、学会と長崎大学の有志による緊急提言「世界平和のための新たな結集—ロシアのウクライナ侵略をめぐる世界的危機の解決を目指して—」と、同提言の概念ペーパーが公表したことは、すでにご存じのことと思います（添付PDF参照）。

この諸提言の策定には、昨年10月中旬に発足したウクライナ問題に関する勉強会が当たりました。この勉強会は、学会会員である、井上 健、猪又忠徳、内田 孟男、功刀 達朗、久山 純弘、門司 和彦の先生方で始めましたが、国連学会理事会の承認の下で行われた長崎大学と国連学会の共催セミナー（本年1月）開催及び提言の起草を機に、参加を希望する会員及び関係学識経験者に open-ended なものになり、今日至っています。

ウクライナへのロシアの侵略から生じた課題は、広範であり、それへの取り組みは、今後とも継続される必要があると考えられます。ついては、この勉強会をこれからは、「国

連課題研究会」（国連の抱える様々な課題を考える研究会）として、国連関係研究者を対象に定期的に（毎月最終火曜日あたりに）セミナーを開催し、所定の諸課題に関し、より掘り下げた意見交換を通じて、学会の包摂的な取り組みを促して行く予定です。

具体的には、国連課題研究会は、第一回研究会として、4月25日（火）の20時からZoomでオンラインセミナーを開くことに致します。テーマは、学会が発表した上記提言に関連した内容を踏まえ、「ウクライナ紛争から見てきた国連の抱える課題」とします。特に、総会緊急特別会期が平和のための結集の具体的措置を欠く手詰り状態の続く中で、グローバルサウスの国々を巻き込みながら、核戦争を回避し、戦争を一日も早く終結させるため国連が何をすべきかを議論いたします。

皆様のご参加を切に願って、茲に案内を差し上げる次第です。

国連課題研究会